

PTA本部活動に関するアンケート結果のご報告

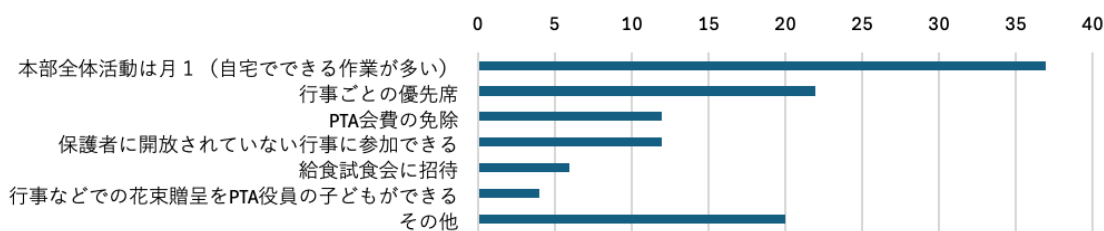
令和6年9月13日

木崎小学校PTA会長 山下裕之

先日行いました、PTA活動に関するアンケートへのご協力ありがとうございました。たくさんの温かいお言葉とともに、現代にあったPTA活動への改革を求める声、PTAの存続についての厳しい声も頂戴いたしました。PTA本部でも活動に対する問題点や課題を認識しており、皆様のご意見に共感する点も多かったです。

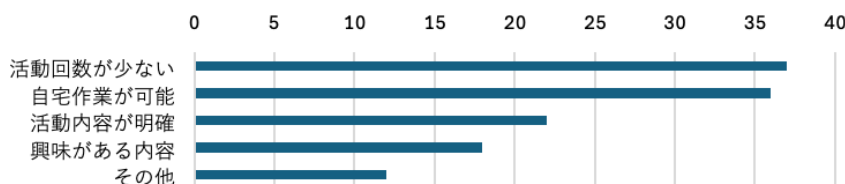
まずは先日のアンケート集計結果、ご意見を一部抜粋してご報告いたします。

どのような条件があれば本部に応募してみたいでしょうか（複数回答可） 回答数65



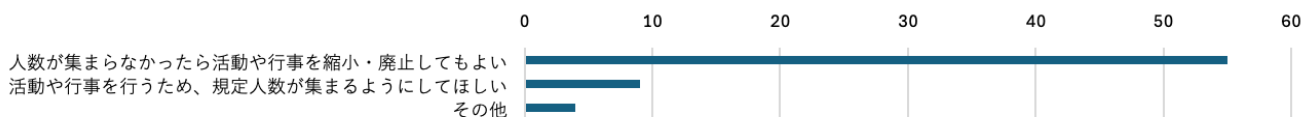
- 本部役員は有償とする。PTA会費から報酬を払う。時間があっても無償で大変な活動は前向きになれない。お金を払って他の方をお願いしたい人・お金をもらって活動したい人の需要と供給があうのでは。
- 月1回でも負担なので年に数回程度の集まりで、他は自宅で作業ができること。
- 本部活動時間の見直し。平日7～19時の活動がないこと。仕事のため平日昼間の活動には参加できない。
- zoomで打ち合わせや自宅作業が可能なら助かる。
- PTA代行やシルバーセンターを活用し、一部の保護者だけに負担が偏らないようにしてほしい。
- 運動会などの行事の時、役員の子どもの競技の時は見に行かれる。
- 本部を一度経験すると兄弟分が免除になる。
- 2年任期ではなく1年任期とする。
- どんな条件でも本部は引き受けられない。
- PTAを廃止してほしい。

どのような条件があれば各委員会に応募してみたいでしょうか（複数回答可） 回答数65



- すべて自宅作業が可能であること。
- 平日の日中の活動が年間通してないこと。
- 子どもの学校での様子が見られる委員会。
- 給食の試食ができる。
- どんな条件でも応募したくない。
- 委員会の必要性を感じない。
- 1児童につき1回の活動は辛い。財源があれば外部委託やお金を払えば活動免除してもらえるなら金額によって考える。
- 本当に必要な活動は委員会ではなく、都度ボランティアを募集してはどうか。
- 保護者同士の交流を目的として、ベルマーク活動などは月1回出入り自由な場所として開放してはどうか。

PTA活動について、本部や委員会の応募が少ない場合のPTA活動や行事についてお答えください 回答数65



- 子どもと一緒に活動できる方法を考えるのはどうか。
- PTA会費を増やし外部に委託する。
- オンラインや自宅でも可能な作業内容に変更する。
- 仕事をしている方が増えている、介護、子育て、病気などの事情がある方を引っ張り出さず、今の時代にあったやり方でいいと思う。無理に活動を続ける必要はなく、集まらなければ中止、廃止に賛成。
- 縮小・廃止できるものはもちろんした方がいいけど、集まらない＝その業務はいらない、とは限らないと思う。

●保護者の負担が大きいことについて

- 針ヶ谷小は最近PTAが廃止になった（正しくは委員会廃止）。共働き家庭が増えているので、時代に合わせていくべきだと思う。
- 仕事の特性上、平日学校に行くことが難しく、委員会などに応募できず申し訳なく思っている。ベルマーク作業など自宅で完結できる作業は立候補しており、今後もやらせていただきたい。
- 共働きで日中に拘束される委員会は参加が難しい。活動が免除になるなら他の人より多く会費を納めても構わない。
- 委員を経験し、本部役員はこんなに忙しいのかと感じた、いつも通りに子どもたちが登校し、行事に参加できるのは役員のおかげもあり感謝している。同時に、たくさんの人が関わる中での活動は自分にはできないかもと思った。役員が楽になるように何か係をしたいが…。自信がない方でも気軽に参加できる係があれば良いと思う。

●PTA活動自体について

- いつも子どもたちのために、一生懸命活動してくださりありがとうございます。思い切って応募できないのも、周りの方達からのお話を聞いて、大変、激務などなど。子どもや学校のことを思っている活動だと思うが、頼める業者に頼るなどして、PTAの働き方を改善した方が良いのかなと思う。
- 親として学校と協力することは大切だが、PTAを半強制のような形で続けるのは悪しき伝統だと思う。市Pの問題もあった。学校のロッカー修理などは、PTAがベルマークを集めて担うものではなく、自治体が動くべき。木崎小PTAがどうということではなく、PTAそのものが時代にそぐわないと考えている。
- 学校入校証などPTAありきの学校運営に違和感を感じる。PTA役員の負担が大きく、今の時代にマッチしていない印象があるので、他校で廃止した事例を参考に、活動の縮小もしくは廃止を検討する時期がきていると感じる。
- 協力する人が減っている今、行事や登校班も縮小や廃止を考えてもいいと思う。
- 活動継続が難しい場合は、業務委託も検討ください。

●活動内容、活動条件について

- それぞれができる範囲で、1家庭1年度担当すればよいと思う。本部や委員会を引き受けた方には会費から謝礼を出してもよい。
- 現在実施されている役員以外の活動のボランティア制度はとても名案だと思う。募集の時点で年間活動回数、作業内容が明確であれば参加しやすい。2ヶ月前にはお知らせがあれば仕事をしている方も検討できる。
- 委員長・副委員長になった人は、次回委員会参加時に役職を免除してほしい。
- 個人的事情で本部役員は務まらず専門委員での活動を選択した。DXが進み活動しやすかった。一方で他の保護者から「逃げ切り」という言葉を聞き残念な気持ちになった。活動をしなくて子どもが不利益を被ってはいけないが、皆事情があることには変わり無いので「逃げ切り」という悪意が許容されないようにしてほしい。本部役員だけでなく、専門委員役員もくじ引きにならないよう優遇条件を検討いただきたい。
- 登校班、旗当番など児童の安全に直結しているものを廃止しては困る家庭も多いと思う。反対になくとも困らない活動に関しては、一度縮小や廃止を試みてはどうか。
- 免除が無くとも活動に参加しやすい組織に編成して欲しい。今ある委員会は無くてもならない活動ではない。強いて言うならば、地区委員会に特化してあとは廃止して欲しい。委員会がなければ、先生の負担も本部の負担も減る。学校から必要とされるお手伝いのみ行うボランティア活動にして、参加するごとにスタンプを貯めて一定数貯まったらみきピーグッズが貰えるなど、ゲーム感覚でボランティアに参加できると楽しいかもしれません。
- ベルマークは手間がかかるので廃止も致し方ない。子ども1人につき1回だが、全くやっていない方もいて不公平。子どもたちのために存続は必要と感じるが、本部・委員長に仕事が集中せず、もう少し分散化できると良い。
- できることをできる時にみんなができるとういと思う。実態を知らずに怖いと思っている人は多いと思う。係をした方の感想など（こんな感じで身構えなくて大丈夫など）を伝えていって、できることをやってくれる人を少しでも増やせば良い。本部役員までは、とってしまうが引き続きできる範囲で協力していきたい。
- 活動期間が2年なのがハードルが高い。1年でやり切れるよう業務を簡素化できれば手を挙げやすくなるのでは。
- 時間と精神的な負担が大きいことに躊躇してしまう。参加はしたくても負担が大きいと感じることが多々ある。
- 年度初めの顔合わせ、担当決めはzoomなどのオンライン上でも良いと思う。負担軽減、欠席した方も把握できる。
- 子どものために本当に必要なことだけ残し、ボランティア制はどうか。年に1回、単発で、子どもに関係すること（学校行事など）であれば参加する方もいるのでは。PTA活動というと大袈裟で身構えるが、子どものお手伝いとして、子どもの活動を近くで見られたら嬉しい。

●あたたかいお言葉も多数ありがとうございました。

実際に、現本部役員も家庭や仕事の事情で本部活動に参加ができない時もあります。時代や環境の変化に合わせ、本部役員もPTA会員の皆様も無理なく参加できる活動へと見直しをしていきたいと思っています。今回皆様よりいただいたご意見も参考に、子どもたちの安全で健やかな学校生活のために本当に必要な活動とその方法を模索していく次第です。

今後、それぞれの行事や委員会活動などについて追加アンケートを行う予定ですのでご協力いただければ幸いです。

日々の活動に関し、ご意見やご質問がございましたらPTA本部メールアドレスまでご連絡ください。

PTA本部では、「すこしの力が大きな支えに」を念頭に活動を行っています

